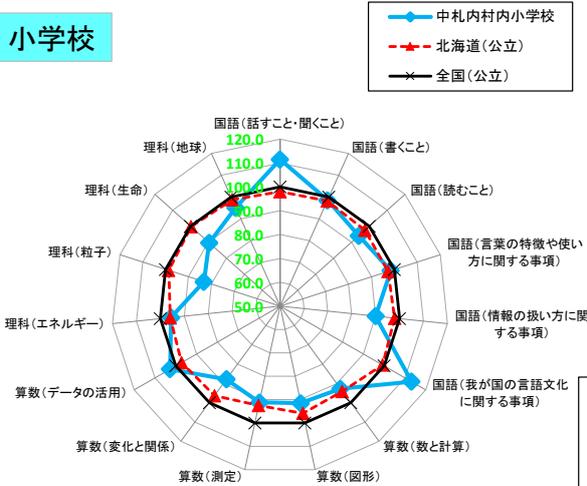


■中札内村内の状況及び学力向上策（小学校数：2校、児童数：37人）（中学校数：1校、生徒数：37人）

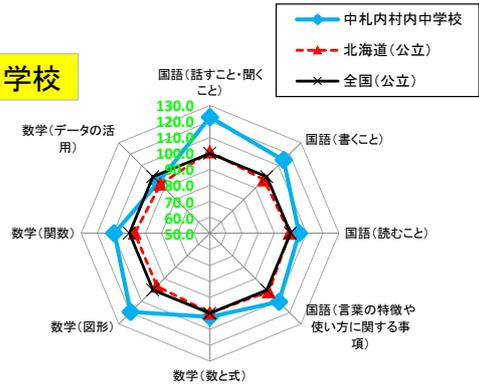
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

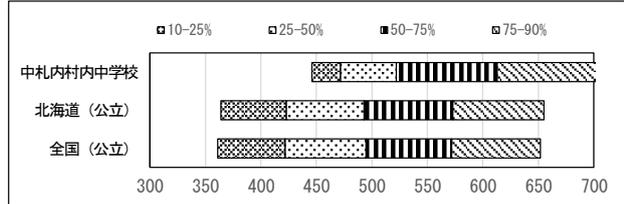
小学校



中学校

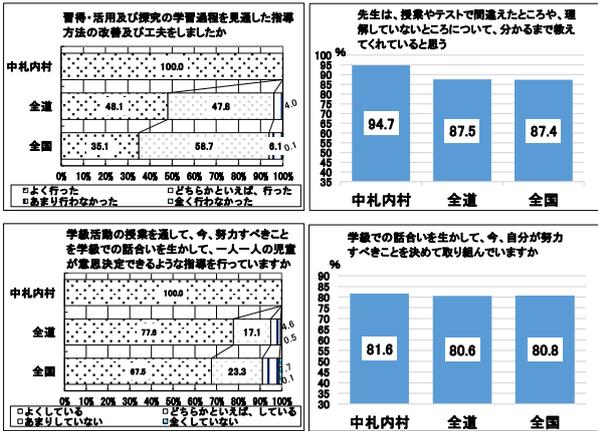


中学校理科IRTスコア分布グラフ（パーセンタイル値：10%、25%、50%、75%、90%）

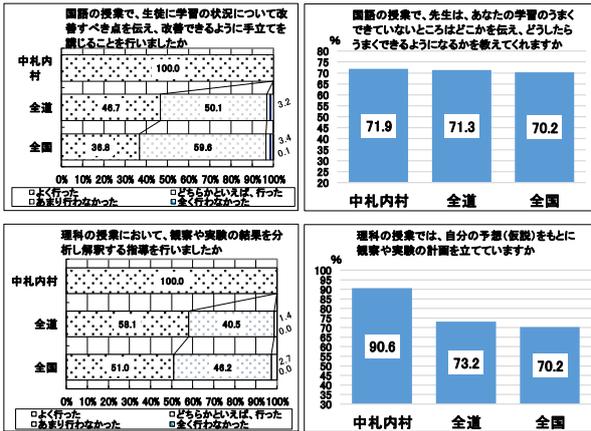


【質問調査の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないことについて分かるまで教えてくれたりと肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の1領域1事項及び算数の1領域で全国及び全道を上回ったと考えられる。

学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を計画的・系統的に行ってきたことにより、学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると肯定的に回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語の授業で、生徒に学習の状況について改善すべき点を伝え、改善できるように手立てを講じてきたことにより、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくださいましたと肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の全領域全事項で全国及び全道を上回ったと考えられる。

理科の授業において、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行ってきたことにより、理科の授業において、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てていると肯定的に回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、理科の下位層の底上げと上位層の増加につながったと考えられる。

【中札内村の学力向上策】

- ◎ 加配等を活用した習熟度別少数数学習やTT指導による個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実の推進
- ◎ 「学力・体力向上等サポート会議」による調査結果の分析及び授業改善に係る取組の推進
- ◎ 学習規律及び基本的な授業スタイルの統一等、9年間を見通した系統的指導の推進
- ◎ 学習意欲の向上と基礎学力の定着、検定合格後の達成感や自己肯定感の向上に向けた各種検定の全額助成（回数無制限）
- ◎ ALTの中小1名ずつ配置、特別支援教育支援員の中小全学年に1名ずつ配置による人的支援の充実
- ◎ 長期休業中における教職員の実践的指導力向上に向けた中札内村・更別村合同研修会の実施